

鎌倉市由比ヶ浜南遺跡48B・129・252号墓出土の中世人骨

松下 真実^{*}

【キーワード】：神奈川県、中世人骨、頭蓋、幼小児骨、病変、受傷痕、クリブラ・オルビタリア

はじめに

神奈川県鎌倉市由比ヶ浜四丁目1101番2外に所在する由比ヶ浜南遺跡は、県営地下駐車場建設に伴って発掘調査が実施された遺跡である。1995（平成7）年3月から1997（平成9）年9月にかけての発掘調査で、埋葬人骨遺構と集骨遺構とが検出され数千体の人骨が出土した。集骨された人骨の体数は3108体をカウントしたが、正確な体数は不明であり、少なくとも3108体は存在するが、実数はおそらく4000体に達すると思われる。集骨遺構のうち、158号墓、5318号墓、204B号墓、123号墓から出土した人骨については人骨所見などをすでに報告した（松下、2002a、2002b）。その後、9号墓（松下・他、2018）および10・14・86号墓（松下・他、2019）、24・25・32号墓（松下真実・他、2023）、18A（松下真実、2024a）、37号墓（松下真実、2024b）から出土した人骨についても報告している。その他の遺構から出土した人骨については、復元作業に時間がかかり、人骨所見の報告ができていない。残りの遺構から出土した人骨の整理作業を現在も継続しており、今後、復元が終了したものについて順次報告していく予定である。

今回は、整理作業や復元作業が終わった48B号墓、129号墓、252号墓の集骨遺構から出土人骨について、体数や人骨所見を報告する。

資 料

本稿は48B号墓、129号墓、252号墓から検出された人骨所見の報告である。人骨はいずれも集骨遺構から検出されたもので、一次葬の様相を呈するものは存在しない。人骨を取り上げる際に、番号がつけられているが、人骨を解剖学的に精査して、体数などを検討した。人骨番号や性別、年齢などは表2に示した。なお、本人骨は考古学的所見から、中世に属する人骨である。

48B号墓から出土した人骨のうち数が最も多い部位は頭蓋と下顎骨である。精査したところ、比較的保存状態が良好な成人頭蓋は1体分（SK-1・女性）である。この1体に属さない左側頭頂骨が1個（SK-2・性別不明）、左側側頭骨から後頭骨にかけて残存しているものが1個（SK-3・女性）、後頭骨が1個（SK-4・女性）存在するが、どの組み合わせにおいても接合できないので、成人頭蓋の数は4体分（女3、不明1）である。また、成人の下顎骨は2体分（MA-1・男性、MA-2・男性）で、小児の下顎骨は1体分（MA-3）、幼児の下顎骨は1体分（MA-4）存在する。従って、最小個体数は頭蓋と下顎骨から8体分（男2、女3、不明1、小児1、幼児1）である。

次に129号墓から出土した人骨を精査したところ、成人骨は3体分（129-D-4・男性、129-F・女性、129-G・男性）、幼児骨は2体分（129-D-1、129-D-2、）である。よって最小個体数は5体分（男2、女1、幼児2）である。

252号墓から出土した人骨を精査したところ、重複した部位を除いた頭蓋が12体分あった。頭蓋のうち成人骨は8体分で、そのうち男性は4体分(252-SK-3、4、7、12)、女性が4体分(252-SK-1、2、8、9)である。未成人骨は幼児が4体分(252-SK-5、6、10、11)で、合計12体である(表1)。人骨番号や性別、年齢などは表2に示した。なお、本人骨は考古学的所見から、中世に属する人骨である。

計測方法は、Martin-Saller(1957)によったが、鼻根部については鈴木(1963)と松下ら(1983)の方法で計測した。なお、年齢区分を表3に示した。

表1 資料数 (Table 1. Number of materials)

	成人			幼児	小児	合計
	男性	女性	不明			
48B	2	3	1	1	1	8
129	2	1	0	2	0	5
252	4	4	0	4	0	12
合計	8	8	1	7	1	25

表2 出土人骨一覧 (Table 2. List of skeletons)

人骨番号	性別	年齢	備考
48B号墓人骨			
48B-SK-1	女性	壮年	
48B-SK-2	不明	壮年	
48B-SK-3	女性	壮年	
48B-SK-4	女性	壮年	
48B-MA-1	男性	不明	
48B-MA-2	男性	不明	
48B-MA-3	—	7歳(小児)	
48B-MA-4	—	幼児	
48B-RA-1	男性	不明	左側
48B-TB-1	女性	不明	
48B-TB-2	不明	不明	
129号墓人骨			
129-D-1	—	2歳前後(幼児)	
129-D-2	—	3～4歳(幼児)	クリブラ・オルビタリア
129-D-3	男性	不明	右側尺骨のみ
129-F	女性	壮年	148.50cm(大腿骨、右)
129-G	男性	不明	165.34cm(大腿骨、左)

252号墓人骨

252-SK-1	女性	壮年	
252-SK-2	女性	壮年	
252-SK-3	男性	熟年	受傷痕
252-SK-4	男性	壮年	
252-SK-5	—	4歳前後（幼児）	受傷痕
252-SK-6	—	2～3歳（幼児）	
252-SK-7	男性	不明	顔面のみ
252-SK-8	女性	壮年	前頭骨のみ クリブラ・オルビタリア
252-SK-9	女性	不明	右側側頭骨のみ
252-SK-10	—	3～4歳（幼児）	左側頭頂骨
252-SK-11	—	4～5歳（幼児）	頭頂骨、後頭骨のみ
252-SK-12	男性	壮年	

（SK：頭蓋、MA：下顎骨、RA：橈骨、TB：脛骨）

表3 年齢区分 (Table 3. Division of age)

年齢区分		年	齢
未成人	乳児	1歳未満	
	幼児	1歳～5歳	（第一大臼歯萌出直前まで）
	小児	6歳～15歳	（第一大臼歯萌出から第二大臼歯歯根完成まで）
	成年	16歳～20歳	（蝶後頭軟骨結合癒合まで）
成人	壮年	21歳～39歳	（40歳未満）
	熟年	40歳～59歳	（60歳未満）
	老年	60歳以上	

注）成年という用語については土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査報告書（松下、1996）を参照されたい。

所 見

各人骨の残存部は図2に示すとおりである。また、各骨の計測値は文末に一括して掲げた。

48B号墓人骨

48B-SK-1（女性・壮年）

1. 頭蓋

(1) 脳頭蓋

頭蓋の保存状態は比較的良好であるが、土圧により変形している。前頭結節の発達良好である。外後頭隆起の発達は悪い。乳様突起は欠損しており観察はできなかった。右側の外耳道の観察ができたが、骨腫は認められない。

縫合は、三主縫合の観察ができた。三主縫合は内外両板とも明瞭で開離している。

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長が(188) mm、頭蓋最大幅は 132mm、バジオン・ブレグマ高は(127) mmである。頭蓋長幅示数は(70.21)、頭蓋長高示数は(67.55)、頭蓋幅高示数は(96.21)となり、頭型は長頭型・低頭型・中頭型(dolicho-, chamae-, metriokran)に属している。また、頭蓋水平周は522mm、横弧長は302mm、正中矢状弧長は377mmである。

(2) 顔面頭蓋

左側前頭突起と左側頬骨が欠損している。眉上弓の隆起は弱く、眼窩間の幅は広い。眉上弓と眉間の隆起はほとんどなく、鼻骨は著しく扁平である。

顔面頭蓋の計測値は、頬骨弓幅が $[64 \times 2 = 128]$ mm、上顔高は(62) mmで、上顔示数は(48.44)となり、顔面には低上顔傾向が認められる。

2. 歯

上顎には歯が残存していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

8	7	6	5	4	3	2	1		1	2	3	4	5	6	7	8	[番号は歯種]
---	---	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---------

[1:中切歯、2:側切歯、3:犬歯、4:第一小臼歯、5:第二小臼歯、6:第一大臼歯、7:第二大臼歯、8:第三大臼歯]

咬耗度は Broca の1度(咬耗がエナメル質のみ)で、咬耗は弱い。なお、第三大臼歯の歯根は形成途中である。

3. 性別・年齢

前頭結節の発達が良好で、外後頭隆起や眉上弓の発達が弱いことから、女性と推定した。年齢は三主縫合の内外両板が明瞭で、開離していることから、壮年と推定した。

48B-SK-2 (性別不明・壮年)

1. 頭蓋

右側頭頂骨のみが残存していた。骨壁は厚く、堅牢である。縫合は三主縫合の観察ができた。三主縫合の内外両板はともに明瞭で開離している。

2. 性別・年齢

年齢は三主縫合の内外両板がともに開離していることから、壮年と推定した。性別は不明であるが、骨壁が厚く、堅牢であることから男性の可能性がある。

48B-SK-3 (女性・壮年)

1. 頭蓋

左側側頭骨から後頭骨にかけて残存していた。骨壁は厚く、堅牢である。乳様突起や外耳道は小さい。左側の外耳道の観察ができたが、骨腫は認められない。外後頭隆起は観察できなかった。

縫合は、ラムダ縫合の観察ができた。ラムダ縫合は内外両板とも開離している。

2. 性別・年齢

性別は、乳頭突起や外耳道が小さいことから女性と推定した。年齢は、ラムダ縫合の内外両板がとも開離していることから壮年と推定した。

48B-SK-4 (女性・壮年)

1. 頭蓋

後頭骨が残存していた。骨壁は薄く、外後頭隆起の発達が悪い。縫合は、ラムダ縫合の観察ができた。ラムダ縫合は内外両板とも開離している。

2. 性別・年齢

性別は、骨壁が薄く、外後頭隆起の発達が悪いことから女性と推定した。年齢は、ラムダ縫合の内外両板とも開離していることから壮年と思われる。

48B-MA-1 (男性・年齢不明)

1. 下顎骨

右側下顎体が残存していた。下顎体はやや高く、大きい。下顎枝は低く、幅は広い。下顎切痕は浅く、下顎角はやや外反している。咬筋粗面の発達は良好である。

2. 歯

下顎骨には歯が残存していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

8 7 6 5 4 3 ② ① | ① ② 3 / / / / / [○: 歯槽開存 /: 不明 (破損)、番号は歯種]

[1: 中切歯、2: 側切歯、3: 犬歯、4: 第一小臼歯、5: 第二小臼歯、6: 第一大臼歯、7: 第二大臼歯、8: 第三大臼歯]

咬耗度は Broca の2度 (咬耗が部分的に象牙質まで及ぶ) である。

3. 性別・年齢

性別は、下顎体が大きく、咬筋粗面の発達が良好であることから、男性と推定した。年齢は、推定できる部位が残存していないので不明である。

48B-MA-2 (男性・年齢不明)

1. 下顎骨

右側下顎体が残存していた。下顎体はやや低い。下顎枝は高く、幅はやや広い。下顎切痕は浅く、下顎角はやや外反している。咬筋粗面の発達は良好である。

2. 歯

下顎骨には歯が残存していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

8 7 6 / / / / / | / / / / / / / [○: 歯槽開存 /: 不明 (破損)、番号は歯種]

[1: 中切歯、2: 側切歯、3: 犬歯、4: 第一小臼歯、5: 第二小臼歯、6: 第一大臼歯、7: 第二大臼歯、8: 第三大臼歯]

咬耗度は Broca の2度 (咬耗が部分的に象牙質まで及ぶ) である。

3. 性別・年齢

性別は、下顎角がやや外反しており、咬筋粗面の発達は良好であることから、男性と推定した。年齢は、推定できる部位が残存していないので不明である。

48B-MA-3 (小児、7歳)

1. 下顎骨

下顎体が残存していた。下顎体はやや高い。第一乳臼歯、第二乳臼歯、第一大臼歯が萌出しており、第二大臼歯冠、左右の側切歯が骨内に埋伏している。乳歯の咬耗度は Broca の 1 度（咬耗がエナメル質のみ）で、咬耗は弱い。

2. 歯

残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

《永久歯》

///	///	///	///	///	///	///	///		///	3	///	///	///	///
///	///	6	///	///	///	///	///		///	///	///	///	///	///

〔/：不明（破損）、番号は歯種〕

〔1：中切歯、2：側切歯、3：犬歯、4：第一小臼歯、5：第二小臼歯、6：第一大臼歯、7：第二大臼歯、8：第三大臼歯〕

《乳歯》

V	IV	○	○	○		○	○	○	IV	V
---	----	---	---	---	--	---	---	---	----	---

〔○：歯槽開存 /：不明（破損）、番号は歯種〕

（Ⅰ：乳中切歯、Ⅱ：乳側切歯、Ⅲ：乳犬歯、Ⅳ：第一乳臼歯、Ⅴ：第二乳臼歯）

3. 性別・年齢

年齢は、第一大臼歯の歯根の形成程度と歯冠に咬耗が確認できることから、7歳前後と推定した。性別は不明である。

48B-MA-4（幼児）

1. 下顎骨

オトガイが残存していた。下顎体は低い。オトガイ隆起の発達は弱い。

歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

///	///	○	○	○		○	○	○	///	///
-----	-----	---	---	---	--	---	---	---	-----	-----

〔○：歯槽開存 /：不明（破損）、番号は歯種〕

（Ⅰ：乳中切歯、Ⅱ：乳側切歯、Ⅲ：乳犬歯、Ⅳ：第一乳臼歯、Ⅴ：第二乳臼歯）

2. 性別・年齢

年齢は、下顎の大きさと歯槽の形成程度から幼児と推定した。性別は不明である。

48B-RA-1（橈骨・男性・年齢不明）

左側の骨体が残存していた。骨体はやや大きく、骨間縁の発達は良好である。

性別は、骨体はやや大きく、骨間縁の発達が良好であることから、男性と推定した。年齢は不明である。

48B-TB-1（脛骨・女性・年齢不明）

左側近位部の上関節面が残存していた。上関節面はやや小さい。ほとんど観察はできなかった。

性別は、上関節面が小さいことから、女性と推定した。年齢は不明である。

48B-TB-2（脛骨・性別・年齢不明）

右側の外側顆が残存していた。関節面は膨隆している。ほとんど観察はできなかった。

性別、年齢ともに推定できる部位が残存していないことから不明であるが、関節面が膨隆し、骨端線がみられることから若年であろう。

129号墓人骨

129-D-1 (幼児・2歳前後)

頭蓋、歯、鎖骨、肋骨、椎骨、寛骨、足の骨が残存していた。

1. 頭蓋

左側の前頭骨が残存していた。前頭縫合は開離している。

2. 歯

遊離歯が残存していた。残存歯を歯式で示すと、次のとおりである。

《永久歯》

///	///	///	///	///	///	///	///	1	///	///	///	///	///	///	///
///	///	///	///	///	///	///	///	2	3	///	///	///	///	///	///

〔/：不明(破損)、番号は歯種〕

〔1：中切歯、2：側切歯、3：犬歯、4：第一小臼歯、5：第二小臼歯、6：第一大臼歯、7：第二大臼歯、8：第三大臼歯〕

永久歯は咬耗していない。

《乳歯》

///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///
V	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///

〔I：乳中切歯、II：乳側切歯、III：乳犬歯、IV：第一乳臼歯、V：第二乳臼歯〕

咬耗度は Broca の1度(咬耗がエナメル質のみ)で、咬耗は弱い。

3. 寛骨

右側の寛骨のみが残存していた。保存状態は良好である。

4. 性別・年齢

年齢は、骨の大きさと歯の形成程度から2歳前後と推定した。性別は不明である。

129-D-2 (幼児・3～4歳前後)

頭蓋と四肢骨が残存していた。

1. 頭蓋

前頭骨と顔面骨が残存していた。残存部分の保存状態は比較的良好である。鼻根部の扁平性は不明である。歯槽性突顎は認められない。左側眼窩上壁にクリブラ・オルビタリア(眼窩篩)が認められる。計測値は、眼窩幅が37mm(右)、眼窩高は30mm(右)で、眼窩示数は81.08(右)となり、中眼窩(mesokonch)に属している。

2. 歯

上顎骨には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

《乳歯》

V	IV	○	○	○	○	/	○	○	IV	V	〔○：歯槽開存 /：不明(破損)、番号は歯種〕
---	----	---	---	---	---	---	---	---	----	---	-------------------------

(Ⅰ：乳中切歯、Ⅱ：乳側切歯、Ⅲ：乳犬歯、Ⅳ：第一乳臼歯、Ⅴ：第二乳臼歯)

3. 四肢骨

(1) 上腕骨

左側の骨体が残存していた。保存状態は良好である。三角筋粗面の発達はやや弱い。

計測値は、最大長が 129mm (左)、骨体中央周は 38mm (左) である。また、骨体中央最大径は 11mm (左)、骨体中央最小径は 8mm (左) で、骨体中央断面示数は 72.73 となり、骨体は扁平である。

(2) 大腿骨

両側の骨体が残存していた。保存状態は良好である。粗線や骨体両側面の後方への発達は悪い。

計測値は、骨体最大長が 175mm (右)、174mm (左)、骨体中央周は 40mm (左右) である。骨体中央横径は 13mm (左右)、骨体中央矢状径は 11mm (左右) で、骨体中央断面示数は 84.62 (左右) となり、粗線や骨体両側面の後方への発達は悪い。上骨体断面示数は 80.00 (右)、73.33 (左) で、左側の骨体上部の方が扁平性が強い。

(3) 脛骨

左側の骨体が残存していた。保存状態は良好である。ヒラメ筋線の発達は弱い。

計測値は、骨体最大長が 139mm (左)、骨体中央周は 37mm (左) である。骨体中央最大径は 12mm (左)、骨体中央最小径が 11mm (左) で、骨体中央断面示数は 91.67 となり骨体には扁平性は認められない。

4. 性別・年齢

年齢は骨の大きさと歯根の形成程度から 3～4 歳と推定した。性別は不明である。

129-D-3 (尺骨・男性・年齢不明)

右側の骨体が残存していた。保存状態は良好である。骨体はやや長く、径は大きい。滑車切痕の幅は広く、骨間縁の発達は良好である。

性別は、骨体が大きく、滑車切痕の幅は広く、骨間縁の発達が良好であることから、男性と推定した。年齢は不明である。

129-F (女性・壮年)

1. 頭蓋

(1) 脳頭蓋

脳頭蓋の保存状態は良好である。骨壁はやや薄い。外後頭隆起の発達は悪く、乳様突起は細く小さい。両側の外耳道の観察ができたが、骨腫は左右ともに認められない。

縫合は、三主縫合が観察できた。冠状縫合は内板でやや癒合が始まっているもののまだ開離しており、矢状縫合とラムダ縫合は開離している。外板は三主縫合とも開離している。

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長が 178mm、頭蓋最大幅は 132mm、バジオン・ブレグマ高は 139mm である。頭蓋長幅示数は 74.16、頭蓋長高示数は 78.09、頭蓋幅高示数は 105.30 となり、頭型は中頭型・高頭型・尖頭型 (meso-,hypsi-,akrocran) に属している。また、頭蓋水平周は

502mm、横弧長は 307mm、正中矢状弧長は 376mm である。

(2) 顔面頭蓋

顔面頭蓋はほぼ完全である。前頭結節はそれほど発達していない。眉上弓の隆起は弱い。眼窩上縁は薄い。鼻骨は狭く、鼻根部はそれほど扁平ではない。頬骨は低く、外側への張り出しはやや強い。歯槽性突顎の傾向は弱い。

顔面頭蓋の計測値は、顔長が 100mm、頬骨弓幅は (131) mm、中顔幅は 95mm、顔高は 104mm、上顔高は 62mm で、顔示数は (79.39) (K)、109.47 (V)、上顔示数は (47.33) (K)、65.26 (V) となり、顔面には低・広顔傾向が認められる。

眼窩幅は 41mm (左右)、眼窩高は 32mm (右)、33mm (左) で、眼窩示数は 78.04 (右)、80.49 (左) となり、両側とも中眼窩 (mesokonch) に属している。

鼻幅は 24mm、鼻高は 49mm で、鼻示数は 48.98 となり、中鼻 (mesorrhin) に属している。鼻根部の計測値は、前眼窩間幅が 16mm、鼻根横弧長は 18mm、鼻根彎曲示数は 88.89 となり、鼻根部は扁平である。両眼窩幅は 93mm で、眼窩間示数は 17.20 となり、顔の幅に対して、眼窩間幅はやや広い。鼻骨最小幅は 6mm で、前頭突起水平傾斜角は 111 度を示し、前頭突起の向きは前額方向である。鼻頬骨角は 155 度で、この角度は大きく、顔面扁平示数は 10.64 である。側面角は、全側面角が 78 度、鼻側面角が 76 度、歯槽側面角は 70 度で、歯槽性突顎の傾向は弱い。

下顎骨はほぼ完全である。下顎体の高径はやや高く、下顎枝の幅は広い。下顎切痕は浅く、下顎角はやや外反している。

2. 歯

上下両顎には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

8 7 ⑥ 5 4 3 2 1		1 2 3 4 5 6 7 ⑧	
⑧ 7 6 5 4 3 2 1		① 2 3 4 5 6 7 8	〔●: 歯槽閉鎖 ○: 歯槽開存、番号は歯種〕

〔1: 中切歯、2: 側切歯、3: 犬歯、4: 第一小白歯、5: 第二小白歯、6: 第一大臼歯、7: 第二大臼歯、8: 第三大臼歯〕

咬耗度は Broca の 3 度 (咬耗が象牙質まで及ぶ) である。また、歯の咬合形式は鋏状咬合である。

3. 四肢骨

(1) 上肢骨

肩甲骨、鎖骨、上腕骨、橈骨、尺骨、胸骨が残存していた。

① 鎖骨

両側が残存していた。保存状態は良好である。長さはやや長く、細い。

② 上腕骨

両側が残存していた。保存状態は良好でほぼ完全である。長さは短く、骨体はやや大きい、骨頭はやや小さい。三角筋粗面の発達良好である。

計測値は、最大長が 277mm (右)、273mm (左)、骨体最小周は 55mm (左右)、中央周は 60mm (左右) で、長厚示数は 19.86 (右)、20.15 (左) である。また、中央最大径は 22mm (右)、21mm (左)、中央最小径は 13mm (右)、14mm (左) で、骨体断面示数は 59.09 (右)、66.67 (左) となり、骨体には強い扁平性が認められる。

③橈骨

両側が残存していた。保存状態は完全である。骨体の長さは短く、骨体は細い。骨間縁の発達良好である。

④尺骨

両側が残存していた。保存状態は完全である。骨体の長さは短く、骨体は細い。骨間縁の発達良好である。

(2) 下肢骨

寛骨、大腿骨、脛骨、腓骨、膝蓋骨が残存していた。

①寛骨

右側はほぼ完全である。大坐骨切痕の角度はやや広く、恥骨下角は大きい。また、耳状面前溝は浅くて幅は狭い。

②大腿骨

左右ともほぼ完全である。長さは短く、骨体はやや大きい。粗線の発達や骨体両側面の後方への発達は悪いが、骨体上部は扁平である。

計測値は、最大長が389mm(右)、384mm(左)、骨体中央周は81mm(右)、80mm(左)で、長厚示数は20.98(右)、20.94(左)となり、骨体はやや頑丈である。骨体中央矢状径は23mm(右)、22mm(左)、横径は27mm(右)、28mm(左)で、骨体中央断面示数は85.19(右)、78.57(左)となり、粗線や骨体両側面の後方への発達は悪い。また、骨体上横径は32mm(左右)、骨体上矢状径は20mm(左右)で、上骨体断面示数は62.50(左右)となり、骨体上部はかなり扁平である。

③脛骨

両側ともほぼ完全である。長さは短く、骨体はやや大きい。ヒラメ筋線の発達は悪い。遠位部が外側にやや捻転している。骨体の断面形は両側ともヘリチカのV型(後面が卵円形)を呈している。

計測値は、脛骨最大長が318mm(右)、316mm(左)、骨体周は73mm(右)、72mm(左)、最小周は68mm(右)、69mm(左)で、骨体はやや大きく、長厚示数は21.94(右)である。中央最大径は26mm(右)、27mm(左)、中央横径は17mm(右)、19mm(左)で、中央断面示数は65.38(右)、70.37(左)となり、右側骨体は扁平である。

④腓骨

両側ともほぼ完全である。長さは短く、骨体は細い。稜の発達は悪く、溝は浅い。

4. 推定身長値

大腿骨最大長から、Pearsonおよび藤井の式を用いて推定身長値を算出すると、それぞれ148.50cm(Pearson、右)、147.53cm(Pearson、左)、148.04cm(藤井、右)、147.31cm(藤井、左)となり、低身長である。

5. 性別・年齢

性別は、眉上弓や外後頭隆起の発達が悪く、乳様突起も細く小さく、大坐骨切痕の角度が広いことから、女性と推定した。年齢は、三主縫合のうち、冠状縫合は内板でやや癒合が始まっているもののまだ開離しており、矢状縫合とラムダ縫合は開離しており、外板は三主縫合とも開離していることから、

ら、壮年と推定した。

129-G (男性・年齢不明)

四肢骨のみが残存していた。

1. 四肢骨

(1) 上肢骨

橈骨、尺骨が残存していた。

① 橈骨

完全な右側が残存していた。長さは長く、骨体はやや太い。骨間縁の発達良好である。

② 尺骨

両側が残存していた。保存状態は完全である。長さは長く、骨体はやや太い。骨間縁の発達良好である。

(2) 下肢骨

寛骨、大腿骨、脛骨、腓骨、膝蓋骨が残存していた。

① 寛骨

両側の寛骨が残存していた。保存状態は良好である。大坐骨切痕の角度と恥骨下角は小さい。耳状面前溝は認められない。

② 大腿骨

左右とも完全である。長さは長く、骨体は大きい。粗線は明瞭で隆起しているが、体両側面の後方への発達は悪い。骨体上部は扁平である。右側骨体の遠位部に骨膜炎による骨増殖が認められる。また、左側の骨体に比べて右側の骨体の方が長い。

計測値は、最大長が(470) mm (右)、447mm (左)、骨体中央周は(98) mm (右)、92mm (左)で、長厚示数は21.12 (右)、20.67 (左)となり、骨体はやや頑丈であるが、右側は病変の影響で計測値が大きくなっている。骨体中央矢状径は34mm(右)、30mm(左)、横径は27mm(右)、28mm(左)で、骨体中央断面示数は125.93 (右)、107.14 (左)となり、粗線は明瞭で隆起しているが、骨体両側面の後方への発達は悪い。また、骨体上横径は34mm (右)、35mm (左)、骨体上矢状径は24mm (左右)で、上骨体断面示数は70.59 (右)、68.57 (左)となり、骨体上部は扁平である。

③ 脛骨

左側の骨体が残存していた。保存状態はほぼ完全である。長さは長く、骨体は大きい。ヒラメ筋線は隆起しており、発達は良好である。骨体の断面形は両側ともヘリチカのI型(正三角形)を呈している。

計測値は、脛骨最大長が372mm (左)、骨体周は88mm (左)、最小周は80mm (左)で、骨体は太く、長厚示数は21.92 (左)である。中央最大径は30mm (左)、中央横径は25mm (左)で、中央断面示数は80.33 (左)となり、骨体には扁平性は認められない。

④ 腓骨

両側ともほぼ完全である。長さは長く、骨体は大きい。稜の発達は良好で、溝も深い。

2. 推定身長値

大腿骨最大長から、Pearson および藤井の公式を用いて推定身長値を算出すると、それぞれ 169.67cm (Pearson、右)、165.34cm (Pearson、左)、170.99cm (藤井、右)、165.31cm (藤井、左) となり、高身長である。

3. 病変

右側大腿骨の骨体中央より遠位部にかけて外的因子によるものと思われる骨膜炎による棘状の骨増殖が認められ、骨増殖による骨肥大も認められる。また、右側大腿骨は左側に比べて 23mm 長い。

4. 性別・年齢

性別は、四肢骨が長くて大きく、大坐骨切痕の角度や恥骨下角が小さいことから、男性と推定した。年齢は、推定できる部位が残存していないので不明であるが、腰椎体縁に棘が形成されていることから、高齢の可能性はある。

252号墓人骨

252-SK-1 (女性・壮年)

1. 頭蓋

(1) 脳頭蓋

脳頭蓋はほぼ完全である。外後頭隆起の発達が悪く、ほとんど隆起していない。乳様突起は大きい。両側の外耳道の観察ができたが、骨腫は左右ともに認められない。縫合は、三主縫合の観察ができた。三主縫合は内外両板とも開離している。

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長が 175mm、頭蓋最大幅は 130mm、バジオン・ブレグマ高は 133mm である。頭蓋長幅示数は 74.29、頭蓋長高示数は 76.00、頭蓋幅高示数は 102.31 となり、頭型は長頭型・高頭型・尖頭型 (dolicho, hypsi, akrocran) に属している。また、頭蓋水平周は 493mm、横弧長は 301mm、正中矢状弧長は 355mm である。

(2) 顔面頭蓋

顔面頭蓋もほぼ完全である。前頭結節はやや発達している。眉上弓の隆起は弱く、鼻骨の隆起も弱く、鼻骨は狭い。

顔面頭蓋の計測値は、顔長が 101mm、頬骨弓幅は (132) mm、中顔幅は 97mm、上顔高は 60mm で、上顔示数は (45.46) (K)、61.86 (V) となり、顔面には低・広上顔傾向が認められる。

眼窩幅は 41mm (右)、42mm (左)、眼窩高は 33mm (右)、34mm (左) で、眼窩示数は 80.49 (右)、80.95 (左) となり、両側とも中眼窩 (mesokonch) に属している。

鼻幅は 24mm、鼻高は 48mm で、鼻示数は 50.00 となり、中鼻 (mesorrhin) に属している。

鼻根部の計測値は、前眼窩間幅が 17mm、鼻根横弧長は 18mm、鼻根彎曲示数は 94.44 となり、鼻根部は扁平である。両眼窩幅は 91mm で、眼窩間示数は 18.68 となり、顔の幅に対して、眼窩間幅はやや広い。鼻骨最小幅は 5mm で、前頭突起水平傾斜角は 124 度を示し、前頭突起の向きは前額方向である。鼻根角は 131 度、鼻根陥凹示数は 22.86 である。鼻頬骨角は 150 度で、この角度は大きく、顔面扁平示数は 13.04 である。

側面角は、全側面角が80度、鼻側面角が79度、歯槽側面角は68度で、歯槽性突顎傾向が認められる。

2. 歯

上顎には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

⑧ 7 6 ⑤ 4 3 2 ① | ① ② 3 4 5 6 7 ⑧ [○: 歯槽開存、番号は歯種]

[1: 中切歯、2: 側切歯、3: 犬歯、4: 第一小臼歯、5: 第二小臼歯、6: 第一大臼歯、7: 第二大臼歯、8: 第三大臼歯]

咬耗度は Broca の1度(咬耗がエナメル質のみ)で、咬耗は弱い。また、歯の咬合形式は不明である。

3. 性別・年齢

性別は、前頭結節がやや発達し、眉上弓の隆起は弱く、外後頭隆起の発達が悪いことから、女性と推定した。年齢は、三主縫合の内外両板がともに開離していることから、壮年と推定した。

252-SK-2 (女性・壮年)

1. 頭蓋

(1) 脳頭蓋

脳頭蓋の保存状態は良好である。外後頭隆起の発達は悪く、乳様突起は小さい。両側の外耳道の観察ができたが、骨腫は左右ともに認められない。縫合は三主縫合の観察ができた。三主縫合は内外両板とも開離している

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長が167mm、頭蓋最大幅は126mm、バジオン・ブレグマ高は127mmである。頭蓋長幅示数は75.45、頭蓋長高示数は76.05、頭蓋幅高示数は100.79となり、頭型は中頭型・高頭型・尖頭型(meso-,hypsi-,akrocran)に属している。また、頭蓋水平周は474mm、横弧長は284mm、正中矢状弧長は333mmである。

(2) 顔面頭蓋

顔面頭蓋は完全である。前頭結節の発達はやや弱く、眉上弓の発達は弱い。鼻根部は扁平である。頬骨の外側への張り出しは強い。

顔面頭蓋の計測値は、顔長が91mm、頬骨弓幅は(129)mm、中顔幅は98mm、上顔高は64mmで、上顔示数は(49.61)(K)、65.31(V)となり、顔面には低・広上顔傾向が認められる。

眼窩幅は45mm(右)、44mm(左)、眼窩高は35mm(右)、36mm(左)で、眼窩示数は77.78(右)、81.82(左)となり、両側とも中眼窩(mesokonch)に属している。

鼻幅は26mm、鼻高は52mmで、鼻示数は50.00となり、中鼻(mesorrhin)に属している。

鼻根部の計測値は、前眼窩間幅が14mm、鼻根横弧長は15mm、鼻根彎曲示数は93.33となり、鼻根部は扁平である。両眼窩幅は95mmで、眼窩間示数は14.74となり、顔の幅に対して、眼窩間幅が狭い。鼻骨最小幅は9mmで、前頭突起水平傾斜角は86度を示し、前頭突起の向きは矢状方向である。鼻根角は118度、鼻根陥凹示数は25.00である。鼻頬骨角は142度で、この角度は大きく、顔面扁平示数は17.20である。

側面角は、全側面角が85度、鼻側面角が87度、歯槽側面角は70度で、歯槽性突顎の傾向は弱い。

2. 歯

上顎骨には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

⑧ 7 6 ⑤ ④ 3 2 ① | ① ② 3 ④ ⑤ 6 ⑦ ⑧

〔○: 歯槽開存、番号は歯種〕

〔1: 中切歯、2: 側切歯、3: 犬歯、4: 第一小臼歯、5: 第二小臼歯、6: 第一大臼歯、7: 第二大臼歯、8: 第三大臼歯〕

咬耗度は Broca の 1 度 (咬耗がエナメル質のみ) で、咬耗は弱い。また、歯の咬合形式は不明である。

3. 性別・年齢

性別は、眉上弓の隆起は弱く、外後頭隆起の発達も悪いことから、女性と推定した。年齢は、三主縫合の内外両板が開離していることから、壮年と推定した。

2 5 2 - S K - 3 (男性・熟年)

1. 頭蓋

(1) 脳頭蓋

脳頭蓋の保存状態は比較的良好である。骨壁は厚く、堅牢である。外後頭隆起の発達は良好で、乳様突起も大きい。前頭結節の発達は悪く、眉上弓はやや隆起している。眉上弓の右側のグラベラ付近に長さ 10mm ほどの傷が 2 本認められる。また、前頭骨の左側の冠状縫合をまたいで左側頭頂骨にかけて 60mm ほどの傷が認められる。両側の外耳道の観察ができたが、骨腫は左右ともに認められない。縫合は、三主縫合の観察ができた。三主縫合の内板は癒合閉鎖しており、外板は開離している。

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長が 190mm、頭蓋最大幅は 130mm、バジオン・ブレグマ高は 141mm である。頭蓋長幅示数は 68.42、頭蓋長高示数は 74.21、頭蓋幅高示数は 108.46 となり、頭型は過長頭型・中頭型・尖頭型 (ultradolicho-ortho-akrocran) に属している。また、頭蓋水平周は 518mm、横弧長は 302mm、正中矢状弧長は 384mm である。

2. 性別・年齢

性別は、外後頭隆起の発達が良好で、乳様突起も大きいことから、男性と推定した。年齢は、三主縫合とも内板は癒合閉鎖しており、外板は開離していることから、熟年と推定した。

2 5 2 - S K - 4 (男性・壮年)

1. 頭蓋

(1) 脳頭蓋

左側側頭部と頭蓋底部を欠損している。外後頭隆起の発達は良好で、中央部は棘状に隆起している。乳様突起も大きい。右側の外耳道の観察ができたが、骨腫は認められない。縫合は、三主縫合が観察できた。三主縫合はいずれも内外両板とも明瞭で開離している。

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長が 181mm、頭蓋最大幅は 141mm で、頭蓋長幅示数は 77.90 となり、頭型は中頭型 (mesokran) に属している。また、頭蓋水平周は (507) mm、横弧長は [310] mm である。

(2) 顔面頭蓋

顔面頭蓋は右側の上顎から頬骨にかけて残存している。前頭結節の発達は悪く、眉上弓はやや隆起している。計測はできなかったが、観察をおこなったところ、鼻根部は扁平で、歯槽性突顎傾向が認められる。

2. 歯

上顎骨には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

8 7 6 5 ④ 3 ② ① | / / / / / / / / / [○: 歯槽開存 /: 不明 (破損)、番号は歯種]

[1: 中切歯、2: 側切歯、3: 犬歯、4: 第一小臼歯、5: 第二小臼歯、6: 第一大臼歯、7: 第二大臼歯、8: 第三大臼歯]

咬耗度は Broca の 1 度 (咬耗がエナメル質のみ) で、咬耗は弱い。また、歯の咬合形式は不明である。

3. 性別・年齢

性別は、前頭結節の発達が悪く、眉上弓は隆起しており、外後頭隆起の発達も良好であることから、男性と推定した。年齢は、三主縫合の内外両板がともに開離していることから、壮年と推定した。

252-SK-5 (幼児・4歳前後)

1. 頭蓋

(1) 脳頭蓋

脳頭蓋の保存状態は比較的良好である。外後頭隆起の発達は悪く、乳様突起は小さい。両側の外耳道の観察ができたが、骨腫は左右ともに認められない。縫合は、三主縫合の観察ができた。三主縫合は内外両板とも開離している。

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長が 152mm、頭蓋最大幅は 134mm で、頭蓋長幅示数は 88.16 となり、頭型は過短頭型 (hyperbrachykran) に属している。また、頭蓋水平周は 455mm、横弧長は (300) mm である。

(2) 顔面頭蓋

両側の前頭突起と左側頬骨の一部が欠損している。前頭結節の発達は良好である。計測はできなかったが、観察をおこなったところ、鼻根部は扁平である。また、前頭骨のグラベラ付近に約 13mm の傷が認められる。

顔面頭蓋の計測値は、頬骨弓幅が (110) mm、上顔高は (51) mm で、上顔示数は 46.36 (K) となり、顔面には低・広上顔傾向が認められる。

眼窩幅は 33mm (左)、眼窩高は 30mm (右)、29mm (左) で、眼窩示数は 87.88 (左) となり、左側は高眼窩 (hypsikonch) に属している。

2. 歯

上顎骨には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

《永久歯》

/ / 6 / / / / / | / / / / / 6 / / [/: 不明 (破損)、番号は歯種]

[1: 中切歯、2: 側切歯、3: 犬歯、4: 第一小臼歯、5: 第二小臼歯、6: 第一大臼歯、7: 第二大臼歯、8: 第三大臼歯]

《乳歯》

V IV / / / | / / III IV V

(I: 乳中切歯、II: 乳側切歯、III: 乳犬歯、IV: 第一乳臼歯、V: 第二乳臼歯)

咬耗度は Broca の 1 度 (咬耗がエナメル質のみ) で、咬耗は弱い。左側第一乳臼歯咬合面に齲蝕が認められる。また、歯の咬合形式は不明である。

3. 性別・年齢

年齢は、歯根の形成程度と歯の萌出程度から4歳前後と推定した。性別は不明である。

252-SK-6 (幼児・2～3歳)

1. 頭蓋

(1) 脳頭蓋

頭蓋底部の一部と両側の頬骨突起が欠損しているが、保存状態は比較的良好である。外後頭隆起の発達が悪く、乳様突起は小さい。前頭結節の発達は良好である。大泉門は認められる。両側の外耳道の観察ができたが、骨腫は左右ともに認められない。縫合は、三主縫合の観察ができた。三主縫合は内外両板とも開離している。

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長が156mm、頭蓋最大幅は117mmで、頭蓋長幅示数は75.00となり、頭型は中頭型(mesokran)に属している。また、頭蓋水平周は435mm、横弧長は265mmである。

2. 性別・年齢

年齢は、大泉門が認められることや、頭蓋の大きさから2～3歳と推定した。性別は不明である。

252-SK-7 (男性・年齢不明)

1. 頭蓋

(1) 脳頭蓋

右側の側頭骨のみが残存していた。外耳道の観察ができたが、骨腫は認められない。

(2) 顔面頭蓋

顔面頭蓋は両側の前頭突起が欠損しているが、保存状態は比較的良好である。眉上弓は隆起している。

顔面頭蓋の計測値は、中顔幅が100mm、上顔高は71mmで、上顔示数は71.00(V)となり、顔面には高・狭上顔傾向が認められる。

鼻幅は26mm、鼻高は52mmで、鼻示数は50.00となり、中鼻(mesorrhin)に属している。

2. 歯

上顎骨には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

⑧ 7 6 ⑤ 4 ③ ② ① | ① 2 3 4 ⑤ 6 7 8 [○: 歯槽開存、番号は歯種]

[1: 中切歯、2: 側切歯、3: 犬歯、4: 第一小臼歯、5: 第二小臼歯、6: 第一大臼歯、7: 第二大臼歯、8: 第三大臼歯]

咬耗度はBrocaの2度(咬耗が部分的に象牙質まで及ぶ)～3度(咬耗が象牙質まで及ぶ)である。

右側犬歯と両側の第一大臼歯に齶蝕が認められる。また、左側第一大臼歯に過剰咬耗が認められる。歯の咬合形式は不明である。

3. 性別・年齢

性別は、眉上弓が隆起していることから、男性と推定した。年齢は、推定できる部位が残存していないので不明である。

252-SK-8 (女性・壮年)

1. 頭蓋

前頭骨と右側頬骨の一部が残存しているにすぎない。前頭結節の発達良好で、眉上弓の隆起はみられない。縫合は冠状縫合が観察できた。冠状縫合は内外両板とも開離している。また、前頭縫合が認められる。右側眼窩上壁にクリブラ・オルビタリア（眼窩篩）が認められる。

2. 性別・年齢

性別は、前頭結節の発達が良好で、眉上弓の隆起は弱いことから、女性と推定した。年齢は、冠状縫合の内外両板がともに開離していることから、壮年と推定した。

252-SK-9 (女性・年齢不明)

1. 頭蓋

右側の側頭骨のみが残存していた。乳様突起は小さい。右側外耳道の観察ができたが、骨腫は認められない。

2. 性別・年齢

性別は、乳様突起が小さいことから、女性と推定した。年齢は、推定できる部位が残存していないことから不明である。

252-SK-10 (幼児・3～4歳)

1. 頭蓋

頭頂骨から後頭骨にかけて残存している。骨壁は薄い。三主縫合の観察ができた。矢状縫合の後方は内外両板とも癒合しており、早期癒合がみられる。

2. 性別・年齢

年齢は、縫合が鋭く、頭蓋の大きさから3～4歳と推定した。性別は不明である。

252-SK-11 (幼児・4～5歳)

1. 頭蓋

左側の頭頂骨のみが残存していた。骨壁は薄い。計測はできなかった。

2. 性別・年齢

年齢は、頭蓋の大きさから4～5歳と推定した。性別は不明である。

252-SK-12 (男性・壮年)

1. 頭蓋

(1) 脳頭蓋

脳頭蓋はほぼ完全である。骨壁はやや厚く、堅牢である。外後頭隆起の発達は良好で、乳様突起も大きい。両側の外耳道の観察ができたが、骨腫は左右ともに認められない。縫合は、三主縫合が観察できた。三主縫合の内板は癒合が進んでいるもののまだ開離しており、外板は開離している。

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長が 177mm、頭蓋最大幅は 138mm、バジオン・ブレグマ高は 135mm である。頭蓋長幅示数は 77.97、頭蓋長高示数は 76.27、頭蓋幅高示数は 97.83 となり、頭型は中頭型・高頭型・中頭型 (meso-,hypsi-,metriokran) に属している。また、頭蓋水平周は 510mm、横弧長は 309mm、正中矢状弧長は 384mm である。

(2) 顔面頭蓋

顔面頭蓋もほぼ完全である。前頭結節の発達弱く、眉上弓の隆起は弱い。鼻根部は扁平である。頬骨の外側への張り出しは強い。

顔面頭蓋の計測値は、顔長が 87mm、頬骨弓幅は 140mm、中顔幅は 108mm、上顔高は 63mm で、上顔示数は 45.00 (K)、58.33 (V) となり、顔面には低・広上顔傾向が認められる。

眼窩幅は 44mm (右)、41mm (左)、眼窩高は 31mm (右)、32mm (左) で、眼窩示数は 70.46 (右)、78.05 (左) となり、右側は低眼窩 (chamaekonch)、左側は中眼窩 (mesokonch) に属している。

鼻幅は 25mm、鼻高は 49mm で、鼻示数は 51.02 となり、低鼻 (chamaerrhin) に属している。

鼻根部の計測値は、前眼窩間幅が 18mm、鼻根横弧長は 19mm、鼻根彎曲示数は 94.74 となり、鼻根部は扁平である。両眼窩幅は 98mm で、眼窩間示数は 18.37 となり、顔の幅に対して、眼窩間幅はやや広い。鼻頬骨角は 152 度で、この角度は大きく、顔面扁平示数は 12.25 である。

側面角は、全側面角が 79 度、鼻側面角が 82 度、歯槽側面角は 79 度で、歯槽性突顎の傾向は認められない。

2. 歯

上顎の歯槽が観察できた。歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④ ③ ② ① | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ [●: 歯槽閉鎖 ○: 歯槽開存、番号は歯種]

[1: 中切歯、2: 側切歯、3: 犬歯、4: 第一小臼歯、5: 第二小臼歯、6: 第一大臼歯、7: 第二大臼歯、8: 第三大臼歯]

歯の咬合形式は不明である。

3. 性別・年齢

性別は、前頭結節の発達が弱く、外後頭隆起の発達は良好で、乳様突起が大きいことから、男性と推定した。年齢は、三主縫合の内板は癒合が進んではいるものの開離しており、外板は開離していることから、壮年と推定した。

要 約

神奈川県鎌倉市にある由比ヶ浜南遺跡の 48B 号墓、129 号墓、252 号墓の集骨遺構から出土した人骨の整理、復元をおこない、体数と人骨所見を記載した。その結果を要約すると次のとおりである。

1. 本人骨群は、考古学的所見から、中世に属する人骨群である。
2. 48B 号墓から出土した人骨は、頭蓋、下顎骨、橈骨、脛骨で、その他に肋骨や椎骨、指の骨が出土しているが、頭蓋と下顎骨が多く、四肢骨の量はかなり少ない。
3. 48B 号墓の成人頭蓋の数は 4 体分 (女 3、不明 1) で、成人の下顎骨は 2 体分 (男 2)、未成人の下顎骨が 2 体分 (幼児 1、小児 1) である。したがって本遺構から出土した人骨の体数は合計 8 体分である。

4. 48B号墓の出土した人骨は、四肢骨よりも頭蓋の数が多いことから、本遺構は頭蓋を主体とした集骨遺構である。
5. 48B号墓の女性1体(48B-SK-1)について脳頭蓋の計測ができた。頭蓋長幅示数は(70.21)で、頭型は長頭型である。
6. 129号墓から出土した人骨は、成人骨が3体分(男性2体、女性1体)、未成人骨が2体分(幼児2体)の合計5体分である。
7. 129号墓の女性(129-F)は全身骨が残存しており、男性(129-G)は頭蓋と上腕骨を除くほぼ全身の骨が残存していた。
8. 129-F(女性、壮年)の頭蓋長幅示数は74.16で、頭型は中頭型に属している。顔示数は79.36(K)、109.47(V)で、顔面は低・広顔である。歯槽側面角は70度で、歯槽性突顎の傾向は弱い。また、上腕骨は扁平で、大腿骨は短く、骨体はやや大きい、骨体両側面の後方への発達が悪い。脛骨もやや大きく、骨体はやや扁平である。右側大腿骨からの推定身長値は148.50cm(Pearson式)で、低身長である。
9. 129-G(男性)の大腿骨は、長さが長く、骨体も太いが、骨体両側面の後方への発達はそれほどよくない。脛骨も大きい、扁平性は認められない。左側大腿骨からの推定身長値は165.34cm(Pearson式)で、高身長である。
10. 252号墓から出土したのは頭蓋のみで、成人頭蓋が8体分(男性4体、女性4体)、幼児頭蓋は4体分で、合計12体分の頭蓋である。
11. 252号墓出土の頭蓋のうち、短頭型は1例(SK-5・幼児)、中頭型は3例(SK-2・女、SK-4・男、SK-6・幼児)、長頭型は1例(SK-1・女)、過長頭型は1例(SK-3・男)であった。また、低・広上顔を示すものが3例(SK-1・女、SK-2・女、SK-5・幼児)、高・狭顔が1例(SK-7・男)存在した。また、SK-1(女)、SK-2(女)の鼻根部は扁平で、SK-1(女)には歯槽性突顎傾向がみられた。
12. 129-G(男)には右側大腿骨に骨膜炎による病変と腰椎に棘形成がみられた。129-D-2(幼児)の左側眼窩上壁と252号墓SK-8(女)の右側眼窩上壁にクリブラ・オルビタリア(眼窩篩)みられた。また252号墓のSK-3(男)とSK-5(幼児)に受傷痕が存在する。SK-10(幼児)には矢状縫合の早期癒合がみられる。

《参考文献》

1. Martin-Saller, 1957: Lehrbuch der Anthropologie. Bd.1. Gustav Fischer Verlag, Stuttgart: 429-597.
2. 松下真実・他、2023: 鎌倉市由比ヶ浜南遺跡24・25・32号墓出土の中世人骨。土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム研究紀要第18号: 7-48.
3. 松下真実、2024a: 鎌倉市由比ヶ浜南遺跡18A号墓出土の中世人骨。土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム研究紀要第19号: 61-121.
4. 松下真実、2024b: 鎌倉市由比ヶ浜南遺跡37号墓出土の中世人骨。土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム研究紀要第19号: 122-174.
5. 松下孝幸・他、1983: 山口県豊浦郡豊北町土井ヶ浜遺跡出土の人骨。土井ヶ浜遺跡第7次発掘調査概報(豊北

- 町埋蔵文化財調査報告 2) : 19-30.
6. 松下孝幸、1996 : 土井ヶ浜遺跡第 14 次発掘調査出土の中世・弥生時代人骨。土井ヶ浜遺跡第 14 次発掘調査報告書 (山口県豊北町埋蔵文化財調査報告書第 12 集) : 24-50.
 7. 松下孝幸、2002a : 神奈川県鎌倉市由比ヶ南遺跡出土の中世人骨。神奈川県・鎌倉市由比ヶ南遺跡〈第 3 分冊・分析編Ⅱ〉 : 1-99.
 8. 松下孝幸、2002b : 鎌倉市由比ヶ南遺跡集骨墓出土中世人骨の埋葬と個体数および受傷人骨。神奈川県・鎌倉市由比ヶ南遺跡〈第 3 分冊・分析編Ⅱ〉 : 101-134.
 9. 松下孝幸・他、2018 : 鎌倉市由比ヶ南遺跡 9 号墓出土の中世人骨。土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム研究紀要第 13 号 : 19-34.
 10. 松下孝幸・他、2019 : 鎌倉市由比ヶ南遺跡 10・14・86 号墓出土の中世人骨。土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム研究紀要第 14 号 : 17-58
 11. 鈴木 尚、1963 : 日本人の骨。岩波書店、東京。
-

* Masami MATSUSHITA、土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

表4 脳頭蓋 (mm) (Calvaria)

由比ヶ浜南											
	48B-SK-1	129-F	129-D-2 3～4歳	252-SK-1 女性	252-SK-2 女性	252-SK-3 男性	252-SK-4 男性	252-SK-5 4歳前後	252-SK-6 2～3歳	252-SK-7 男性	252-SK-8 252-SK-12 女性
1.	頭蓋最大長	178	-	175	167	190	181	152	156	-	177
8.	頭蓋最大幅	132	-	130	126	130	141	134	117	-	138
17.	バジオン・ブレグマ高	139	-	133	127	141	-	-	-	-	135
8/1	頭蓋長幅示数	74.16	-	74.29	75.45	68.42	77.90	88.16	75.00	-	77.97
17/1	頭蓋長高示数	78.09	-	76.00	76.05	74.21	-	-	-	-	76.27
17/8	頭蓋幅高示数	105.30	-	102.31	100.79	108.46	-	-	-	-	97.83
1+8+17/3	頭蓋モズルス	149.67	-	146.00	140.00	153.67	-	-	-	-	150.00
5.	頭蓋底長	99	-	101	99	104	-	-	-	-	88
9.	最小前頭幅	92	85	91	88	93	86	80	-	92	97
10.	最大前頭幅	115	104	110	101	107	114	105	96	-	121
11.	両耳幅	113	-	123	122	119	-	112	83	-	128
12.	最大後頭幅	-	-	104	102	109	116	-	86	-	106
13.	乳突幅	-	-	105	-	-	-	-	-	-	109
7.	大後頭孔長	33	-	40	34	31	-	-	-	-	38
16.	大後頭孔幅	27	-	33	-	26	-	-	-	-	34
16/7	大後頭示数	81.82	-	82.50	-	83.87	-	-	-	-	89.47
23.	頭蓋水平周	502	-	493	474	518	(507)	455	435	-	510
24.	横弧長	307	-	301	284	302	[310]	(300)	265	-	309
25.	正中矢状弧長	376	-	355	333	384	-	331	-	-	384
26.	正中矢状前頭弧長	122	-	122	112	129	125	114	-	-	128
27.	正中矢状頭頂弧長	136	-	129	115	135	124	121	-	-	150
28.	正中矢状後頭弧長	118	-	104	106	120	-	96	-	-	106
29.	正中矢状前頭弦長	107	-	106	101	115	110	96	-	-	111
30.	正中矢状頭頂弦長	118	-	114	103	120	113	104	-	-	126
31.	正中矢状後頭弦長	100	-	99	92	98	-	79	-	-	94
29/26	矢状前頭示数	85.38	-	86.89	90.18	89.15	88.00	84.21	-	-	86.72
30/27	矢状頭頂示数	88.46	-	88.37	89.57	88.89	91.13	85.95	-	-	84.00
31/28	矢状後頭示数	78.63	-	95.19	86.79	81.67	-	82.29	-	-	88.68

〔 〕：片側×2、()：推定値

表5 顔面頭蓋 (mm、度) (Facial skeleton)

	由比ヶ浜南									
	48B-SK-1 女性	129-F 女性	129-D-2 3~4歳	252-SK-1 女性	252-SK-2 女性	252-SK-4 男性	252-SK-5 4歳前後	252-SK-7 男性	252-SK-8 女性	252-SK-12 男性
40. 顔長	-	100	-	101	91	-	-	-	-	87
41. 側顔長	-	76	-	75	70	-	57	-	-	69
42. 下顔長	-	104	-	-	-	-	-	-	-	-
43. 上顔幅	-	101	-	101	102	102	81	106	102	107
45. 頬骨弓幅	{128}	(131)	-	(132)	(129)	-	(110)	(100)	-	140
46. 中顔幅	-	95	-	97	98	-	-	-	-	108
47. 顔高	-	104	-	-	-	-	-	-	-	-
48. 上顔高	(62)	62	90	60	64	-	(51)	71	-	63
47/45 顔示数 (K)	-	(79.39)	-	-	-	-	-	-	-	-
48/45 上顔示数 (K)	(48.44)	(47.33)	-	(45.46)	(49.61)	-	(46.36)	-	-	45.00
47/46 顔示数 (V)	-	109.47	-	-	-	-	-	-	-	-
48/46 上顔示数 (V)	-	65.26	-	(61.86)	65.31	-	-	(71.00)	-	58.33
40+45+47/3 顔面モズルス	-	(111.67)	-	-	-	-	-	-	-	-
50. 前眼窩間幅	-	16	-	17	14	-	-	-	-	18
44. 両眼窩幅	-	93	-	91	95	-	-	-	-	98
50/44 眼窩間示数	-	17.20	-	18.68	14.74	-	-	-	-	18.37
51. 眼窩幅 (右)	-	41	37	41	45	-	-	-	-	44
(左)	-	41	-	42	44	-	33	-	-	41
(右)	-	32	30	33	35	-	30	33	-	31
(左)	-	33	-	34	36	-	29	32	-	32
52/51 眼窩示数 (右)	-	78.04	81.08	80.49	77.78	-	-	26	-	70.46
(左)	-	80.49	-	80.95	81.82	-	87.88	52	-	78.05
54. 鼻幅	-	24	22	24	26	-	-	50.00	-	25
55. 鼻高	-	49	-	48	52	-	-	-	-	49
54/55 鼻示数	-	48.98	-	50.00	50.00	-	-	-	-	51.02
55(1). 梨状口高	-	-	-	30	-	-	-	-	-	-
56. 鼻骨長	-	-	-	23	-	-	-	-	-	-
57. 鼻骨最小幅	8	6	-	5	9	-	-	-	-	-
57(1). 鼻骨最大幅	-	-	-	(14)	-	-	-	-	-	-
60. 上顎齒槽長	-	53	-	50	53	-	-	-	-	49
61. 上顎齒槽幅	-	63	-	60	61	-	59	63	-	64
62. 口蓋長	-	46	-	42	44	-	-	(49)	-	41
63. 口蓋幅	(37)	39	-	37	39	-	-	-	-	-
64. 口蓋高	-	11	-	11	11	-	-	-	-	-
61/60 上顎齒槽示数	-	118.87	-	120.00	115.09	-	-	-	-	130.61
63/62 口蓋示数	-	84.78	-	88.10	88.64	-	-	-	-	-
64/63 口蓋高示数	-	28.21	-	29.73	28.21	-	-	-	-	-
72. 全側面角	-	78	-	80	85	-	-	-	-	79
73. 鼻側面角	-	76	-	79	87	-	-	-	-	82
74. 齒槽側面角	-	70	-	68	70	-	-	-	-	79

〔 〕 : 片側 × 2、() : 推定値

表6 鼻根部 (mm、度) (Nasal root)

	由比ヶ浜南			
	129-F 女性	252-SK-1 女性	252-SK-2 女性	252-SK-12 男性
50. 前眼窩間幅	16	17	14	18
50A. 鼻根横弧長	18	18	15	19
50/50A 鼻根彎曲示数	88.89	94.44	93.33	94.74
57. 鼻骨最小幅	6	5	9	-
44. 両眼窩幅	93	91	95	98
50/44 眼窩間示数	17.20	18.68	14.74	-
a. 前頭突起上幅(右)	10	10	9	8
(左)	9	10	10	-
b. 前頭突起水平傾斜角	111	124	86	-
c. G-N 投影距離	4	2	1	3
d. 鼻根角	-	131	-	-
e. G-R 距離	-	35	-	-
f. 垂線高	-	8	-	-
f / e 鼻根陷凹示数	-	22.86	-	-
77. 鼻頰骨角	155	150	142	152
F a f m o 間距離	94	92	93	98
F h 垂線高	10	12	16	12
F h / F ε 顔面扁平示数	10.64	13.04	17.20	12.25

表7 下顎骨 (女性、mm、度) (Mandibula)

	由比ヶ浜南			
	48B-MA-1 男性	48B-MA-2 男性	48B-MA-3 女性	129-F 女性
65 下顎関節突起幅	-	-	-	-
65(1). 下顎筋突起幅	-	-	-	95
66 下顎角幅	-	-	-	101
67 前下顎幅	-	-	49	47
68 下顎長	-	-	-	64
68(1). 下顎長	-	-	-	106
69 オトガイ高	-	-	-	29
69(1). 下顎体高(右)	30	-	25	30
(左)	-	-	24	29
69(2). 下顎体高(右)	27	-	-	28
(左)	-	-	-	28
70 枝高(右)	-	57	-	64
(左)	-	-	-	-
70(1). 前枝高(右)	-	-	-	64
(左)	-	-	-	62
70(2). 最小枝高(右)	48	52	-	51
(左)	-	-	-	49
70(3). 下顎切痕高(右)	-	15	-	13
(左)	-	-	-	-
71(1). 下顎切痕幅(右)	-	37	-	34
(左)	-	-	-	-
71 枝幅(右)	40	34	-	37
(左)	-	-	-	37
71a. 最小枝幅(右)	40	34	-	37
(左)	-	-	-	37
79 下顎枝角(右)	-	-	-	112
(左)	-	-	-	117
66/65 下顎幅示数	-	-	-	-
68/65 幅長示数	-	-	-	-
68(1)/65 幅長示数(右)	-	-	-	96.55
69(2)/69 下顎高示数(右)	-	-	-	96.55
(左)	-	59.65	-	57.81
71/70 下顎枝示数(右)	-	-	-	-
(左)	-	-	-	-
71a/70(2) 下顎枝示数(右)	83.33	65.38	-	72.55
(左)	-	-	-	75.51
70(3)/71(1) 下顎切痕示数(右)	-	40.55	-	38.24
(左)	-	-	-	-

表8 肩甲骨(女性、mm) (Scapula)

		由比ヶ浜南	
		129-F	
		女性	
12.	関節窩長(右)	32	
	(左)	32	
13.	関節窩幅(右)	23	
	(左)	23	
14.	関節窩深(右)	4	
	(左)	4	
13/12	関節窩長幅示数(右)	71.88	
	(左)	71.88	
14/12	関節窩彎曲示数(右)	12.50	
	(左)	12.50	

表10 上腕骨(女性、mm) (Humerus)

		由比ヶ浜南	
		129-F	129-D-2
		女性	3~4歳
1.	上腕骨最大長(右)	277	-
	(左)	273	129
2.	上腕骨全長(右)	273	-
	(左)	299	11
3.	上端幅(右)	-	-
	(左)	42	8
3(1).	横上径(右)	45	-
	(左)	45	38
4.	下端幅(右)	53	-
	(左)	54	-
5.	中央最大径(右)	22	-
	(左)	21	-
6.	中央最小径(右)	13	-
	(左)	14	-
7.	骨体最小周(右)	55	-
	(左)	55	34
7(a)	中央周(右)	60	-
	(左)	60	-
8.	頭周(右)	122	-
	(左)	117	-
9.	頭最大横径(右)	38	-
	(左)	38	-
10.	頭最大矢状径(右)	37	-
	(左)	38	-
11.	滑車幅(右)	20	-
	(左)	17	-
12.	小頭幅(右)	16	-
	(左)	16	-
12(a)	滑車幅および小頭幅(右)	39	-
	(左)	38	-
13.	滑車深(右)	24	-
	(左)	23	-
14.	肘頭窩幅(右)	23	-
	(左)	25	-
15.	肘頭窩深(右)	12	-
	(左)	11	-
6/5	骨体断面示数(右)	59.09	-
	(左)	66.67	72.73
7/1	長厚示数(右)	19.86	-
	(左)	20.15	26.36

表9 鎖骨(女性、mm) (Clavicula)

		由比ヶ浜南	
		129-F	
		女性	
1.	鎖骨最大長(右)	130	
	(左)	133	
2 a	骨体彎曲高(右)	25	
	(左)	24	
2(1)	肩峰端彎曲高(右)	30	
	(左)	29	
4.	中央垂直径(右)	12	
	(左)	10	
5.	中央矢状径(右)	10	
	(左)	10	
6.	中央周(右)	37	
	(左)	34	
6/1	長厚示数(右)	28.46	
	(左)	25.56	
2 a / 1	彎曲示数(右)	19.23	
	(左)	18.05	
4/5	鎖骨断面示数(右)	120.00	
	(左)	100.00	
2(1)/1	肩峰端彎曲示数(右)	23.08	
	(左)	21.80	

表 11 橈骨(女性、mm) (Radius)

		由比ヶ浜南		
		48B-MA-3	129-F	129-G
		女性	女性	男性
1.	最大長(右)	-	208	244
	(左)	-	207	-
1 b.	平行長(右)	-	205	243
	(左)	-	204	-
2.	機能長(右)	-	194	228
	(左)	-	194	-
3.	最小周(右)	-	36	47
	(左)	40	36	-
4.	骨体横径(右)	-	14	19
	(左)	16	14	-
4 a.	骨体中央横径(右)	-	14	17
	(左)	16	14	-
4(1).	小頭横径(右)	-	19	25
	(左)	-	19	-
4(2).	頸横径(右)	-	11	15
	(左)	-	11	-
5.	骨体矢状径(右)	-	9	13
	(左)	13	10	-
5 a.	骨体中央矢状径(右)	-	9	14
	(左)	13	10	-
5(1).	小頭矢状径(右)	-	20	24
	(左)	-	19	-
5(2).	頸矢状径(右)	-	13	17
	(左)	-	14	-
5(3).	小頭周(右)	-	63	77
	(左)	-	62	-
5(4).	頸周(右)	-	40	51
	(左)	-	41	-
5(5).	骨体中央周(右)	-	39	50
	(左)	46	39	-
5(6).	骨下端幅(右)	-	29	34
	(左)	-	30	-
3/2	長厚示数(右)	-	18.56	20.61
	(左)	-	18.56	-
5/4	骨体断面示数(右)	-	64.29	68.42
	(左)	81.25	64.29	-
5 a / 4	中央断面示数(右)	-	64.29	82.35
	(左)	81.25	64.29	-

表12 尺骨(女性、mm) (Ulna)

		由比ヶ浜南		
		129-F	129-G	129-D-3
		女性	男性	男性
1.	最大長(右)	226	260	-
	(左)	225	262	-
2.	機能長(右)	200	257	-
	(左)	198	259	-
2(1).	肘頭尺骨頭長(右)	223	230	-
	(左)	222	232	-
3.	最小周(右)	35	43	-
	(左)	34	42	-
6.	肘頭幅(右)	21	29	-
	(左)	22	28	-
6(1).	上幅(右)	22	40	34
	(左)	27	37	-
7.	肘頭深(右)	22	25	-
	(左)	22	23	-
8.	肘頭高(右)	18	22	-
	(左)	19	22	-
11.	尺骨矢状径(右)	11	15	13
	(左)	11	15	-
12.	尺骨横径(右)	16	20	17
	(左)	15	19	-
S	中央最小径(右)	11	15	13
	(左)	11	15	-
L	中央最大径(右)	16	19	16
	(左)	15	19	-
C	中央周(右)	45	57	50
	(左)	42	56	-
3/2	長厚示数(右)	17.50	16.73	-
	(左)	17.17	16.22	-
11/12	骨体断面示数(右)	68.75	75.00	76.47
	(左)	73.33	78.95	-
S/L	中央断面示数(右)	68.75	78.95	81.25
	(左)	73.33	78.95	-

表 13 大腿骨 (女性、mm) (Femur)

	由比ヶ浜南		
	129-F 女性	129-G 男性	129-D-2 3～4 歳
1. 最大長(右)	389	(470)	175
(左)	384	447	174
2. 自然位全長(右)	386	(464)	-
(左)	382	445	-
3. 最大転子長(右)	375	(456)	-
(左)	373	437	-
4. 自然位転子長(右)	366	(441)	-
(左)	365	427	-
6. 骨体中央矢状径(右)	23	34	11
(左)	22	30	11
7. 骨体中央横径(右)	27	27	13
(左)	28	28	13
8. 骨体中央周(右)	81	(98)	40
(左)	80	92	40
9. 骨体上横径(右)	32	34	15
(左)	32	35	15
10. 骨体上矢状径(右)	20	24	12
(左)	20	24	11
15. 頸垂直径(右)	30	34	-
(左)	28	33	-
16. 頸矢状径(右)	27	27	-
(左)	23	28	-
17. 頸周(右)	88	99	-
(左)	85	101	-
18. 頭垂直径 (右)	42	48	-
(左)	42	48	-
19. 頭横径(右)	42	48	-
(左)	41	48	-
20. 頭周(右)	131	153	-
(左)	132	167	-
21. 上顆幅(右)	73	89	-
(左)	-	87	-
8/2 長厚示数(右)	20.98	21.12	22.86
(左)	20.94	20.67	22.99
6/7 骨体中央断面示数(右)	85.19	125.93	84.62
(左)	78.57	107.57	84.62
10/9 上骨体断面示数(右)	62.50	70.59	80.00
(左)	62.50	68.57	73.33

表 14 脛骨(女性、mm) (Tibia)

		由比ヶ浜南		
		129-F 女性	129-G 男性	129-D-2 3～4 歳
1.	脛骨全長(右)	310	-	-
	(左)	-	365	-
1 a.	脛骨最大長(右)	318	-	-
	(左)	316	372	139
1 b.	脛骨長(右)	-	-	-
	(左)	309	360	-
2.	顆距間距離(右)	296	-	-
	(左)	291	350	-
3.	最大上端幅(右)	-	-	-
	(左)	-	82	-
3 a.	上内関節面幅(右)	30	-	-
	(左)	-	32	-
3b.	上外関節面幅(右)	-	-	-
	(左)	26	31	-
4 a.	上内関節面深(右)	47	-	-
	(左)	42	50	-
4 b.	上外関節面深(右)	36	-	-
	(左)	34	38	-
6.	最大下端幅(右)	47	-	-
	(左)	48	56	-
7.	下端矢状径(右)	33	-	-
	(左)	34	39	-
8.	中央最大径(右)	26	-	-
	(左)	27	30	12
8 a.	栄養孔位最大径(右)	29	-	-
	(左)	28	39	-
9.	中央横径(右)	17	-	-
	(左)	19	25	11
9 a.	栄養孔位横径(右)	21	-	-
	(左)	20	30	-
10.	骨体周(右)	73	-	-
	(左)	72	88	37
10 a.	栄養孔位周(右)	80	-	-
	(左)	76	105	-
10 b.	最小周(右)	68	-	-
	(左)	69	80	34
9/8.	中央断面示数(右)	65.38	-	-
	(左)	70.37	80.33	91.67
9 a / 8 a	栄養孔位断面示数(右)	72.41	-	-
	(左)	68.75	76.92	-
10 b / 1	長厚示数(右)	21.94	-	-
	(左)	-	21.92	24.46

表 15 腓骨 (女性、mm) (Fibula)

		由比ヶ浜南		
		129-F	129-G	129-D-2
		女性	女性	3～4 歳
1.	最大長(右)	-	372	-
	(左)	302	370	-
2.	中央最大径(右)	15	16	-
	(左)	13	19	7
3.	中央最小径(右)	10	13	-
	(左)	11	13	5
4.	中央周(右)	41	50	-
	(左)	44	56	23
4 a.	最小周(右)	37	46	-
	(左)	37	42	19
4 b.	頸横径(右)	10	13	-
	(左)	10	13	-
4 c.	頸矢状径(右)	12	15	-
	(左)	12	13	-
4(1).	上端幅(右)	-	35	-
	(左)	30	31	-
4(1 a).	上端矢状幅(右)	-	32	-
	(左)	15	31	-
4(2).	下端幅(右)	18	20	-
	(左)	19	22	-
4(2 a).	下端矢状幅(右)	29	29	-
	(左)	24	28	-
3/2	中央断面示数(右)	66.67	81.25	-
	(左)	84.62	68.42	71.43
4 a / 1	長厚示数(右)	-	12.37	-
	(左)	12.25	11.35	-

表 16 膝蓋骨 (女性、mm) (Patella)

		由比ヶ浜南	
		129-F	129-G
		女性	男性
1.	最大高(右)	37	48
	(左)	36	48
2.	最大幅(右)	38	46
	(左)	36	46
3.	最大厚(右)	17	22
	(左)	17	22
4.	関節面高(右)	30	27
	(左)	29	31
5.	内関節面幅(右)	19	22
	(左)	17	23
6.	外関節面幅(右)	22	27
	(左)	23	27
1/2	膝蓋骨高幅示数(右)	97.37	104.35
	(左)	100.00	104.35

表 17 推定身長値 (女性、cm) (Stature)

		由比ヶ浜南	
		129-F	129-G
		女性	男性
Pearson	上腕骨 (右)	147.76	-
	(左)	146.66	-
	橈骨 (右)	150.76	165.74
	(左)	150.42	-
	大腿骨 (右)	148.50	(169.67)
	(左)	147.53	165.34
	脛骨 (右)	147.69	-
	(左)	-	165.39
藤井の式	上腕骨 (右)	147.23	-
	(左)	146.72	-
	橈骨 (右)	148.04	163.11
	(左)	148.38	-
	大腿骨 (右)	148.18	(170.99)
	(左)	147.31	165.34
	脛骨 (右)	147.83	-
	(左)	147.70	165.33

表 18 形態小変異 (Non-metoric crania variants)

	252-SK-1 女性		129-F 女性		48B-MA-3 女性		252-SK-1 女性		252-SK-2 女性		252-SK-3 男性		252-SK-4 男性		252-SK-5 男性		252-SK-6 男性		252-SK-7 男性		252-SK-8 男性		252-SK-9 男性		252-SK-12 男性	
	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左
1. Medial palatine canal (内側口蓋管)	-	-	-	-	/	/	-	-	-	/	/	/	/	/	-	-	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-
2. Pterygospinous foramen (翼棘孔)	-	-	-	-	/	/	-	-	-	/	/	/	/	/	-	-	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-
3. Hypoglossal canal bridging (舌下神経管二分)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4. Clinoid bridging (床状突起間骨橋)	/	/	-	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	-	-
5. Condylar canal absent (顎関節欠如)	+	+	-	-	/	/	+	+	/	/	-	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	+	+
6. Tympanic dehiscence, Foramen of Huschke(>1mm) (フッシュケ孔、鼓室骨裂孔)	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	/	/	+	+	-	-
7. Jugular foramen bridging	-	-	/	/	/	/	-	-	/	/	-	-	/	/	+	+	/	/	/	/	/	/	/	/	-	-
8. Precondylar tubercle	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	-	-
9. Supra-orbital foramen (incl. frontal foramen) (眼窩上孔)	+	+	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10. Accessory intraorbital foramen (副眼窩下孔)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11. Zygofacial foramen absent	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	/	/	/	/	-	-	/	/	-	-	/	/	/	/	-	-
12. Aural exostosis (外耳道骨腫)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-
13. Metopism (前頭縫合)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	/	/	-	-
14. Os incae (インカ骨)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	/	/	/	/	-	-
15. Ossicle at the lambda (ラムダ小骨)	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-	/	/	-	-	/	/	/	/	/	/	+	+
16. Parietal notch bone (頭頂切痕骨)	-	-	-	-	/	/	+	+	+	+	/	/	/	/	+	+	/	/	/	/	/	/	/	/	-	-
17. Transverse zygomatic suture (>5mm)	+	+	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	/	/	/	/	-	-
18. Asterion ossicle	-	-	/	/	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	/	/	/	/	-	-
19. Occipitomastoid ossicle	-	-	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	/	/	/	/	-	-
20. Epitric ossid	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	/	/	/	/	-	-
21. Frontotemporal articulation	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	/	/	/	/	-	-
22. Blasternic suture (>10mm)	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	/	/	/	/	-	-
23. Mylohyoid bridging (顎舌骨筋神経溝)	/	/	-	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
24. Accessory mental foramen (副オトガイ孔)	/	/	-	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
25. Mandibular torus (下顎隆起)	/	/	-	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
26. 淨重上孔 (上腭骨)	/	/	-	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

[present: +, absent: -, unobservable: /]

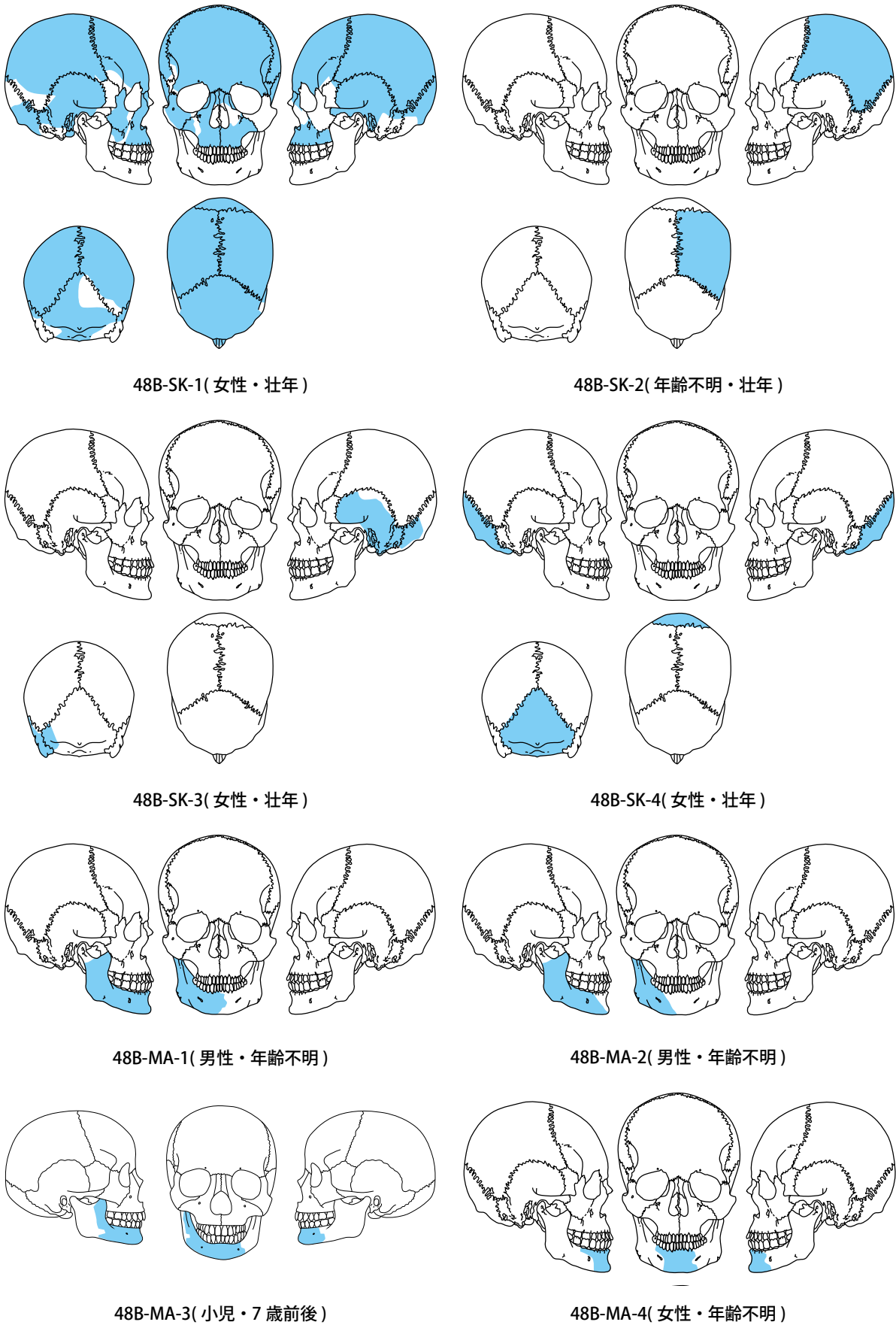
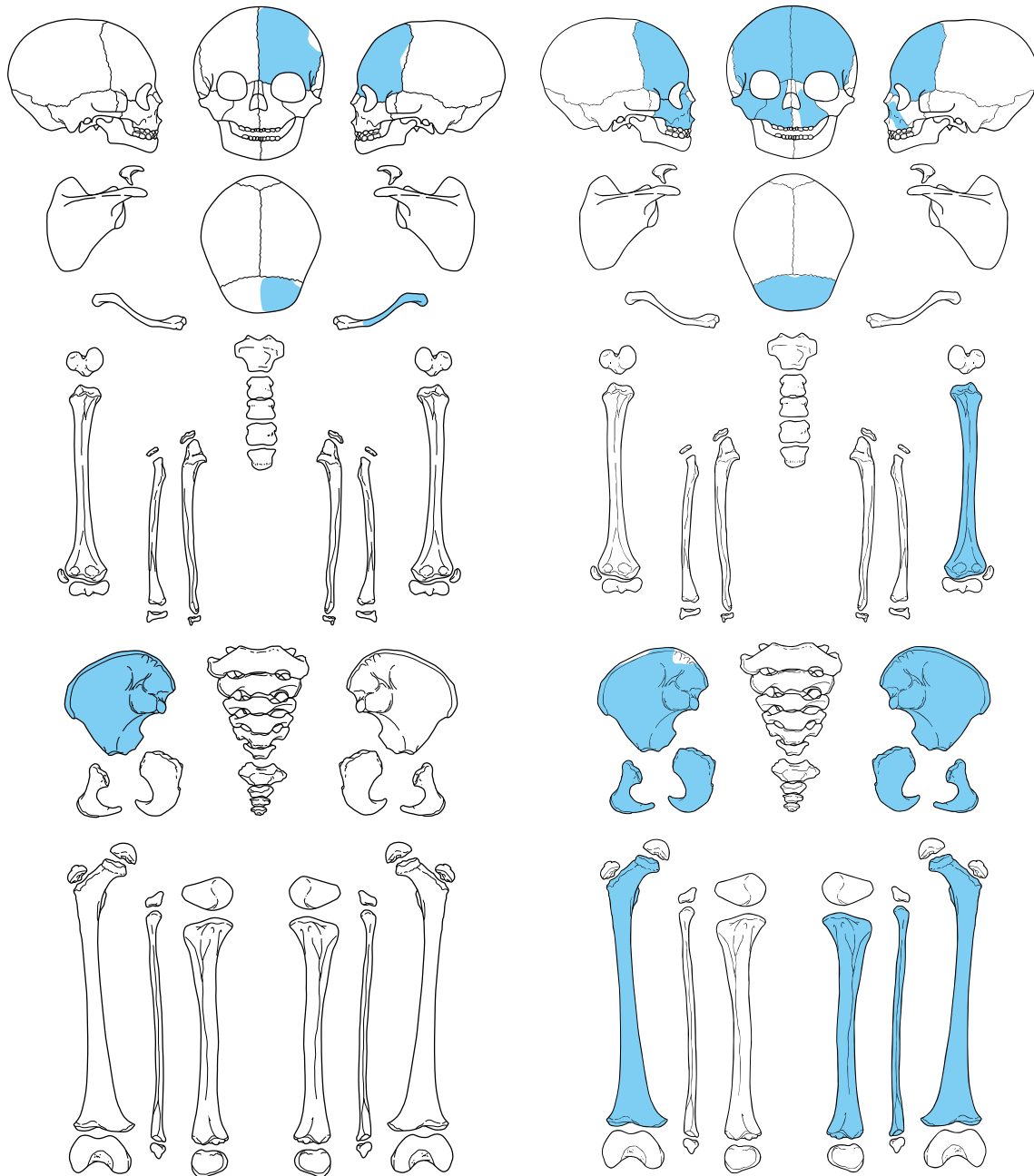


図2-1 人骨の残存図(アミかけ部分)

(Fig.2-1 Regions of preservation of the skeleton. Shaded areas are preserved.)



129-D-1 (幼児・2歳前後)

129-D-2 (幼児・3～4歳)

図2-2 人骨の残存図(アミかけ部分)

(Fig.2-2 Regions of preservation of the skeleton. Shaded areas are preserved.)

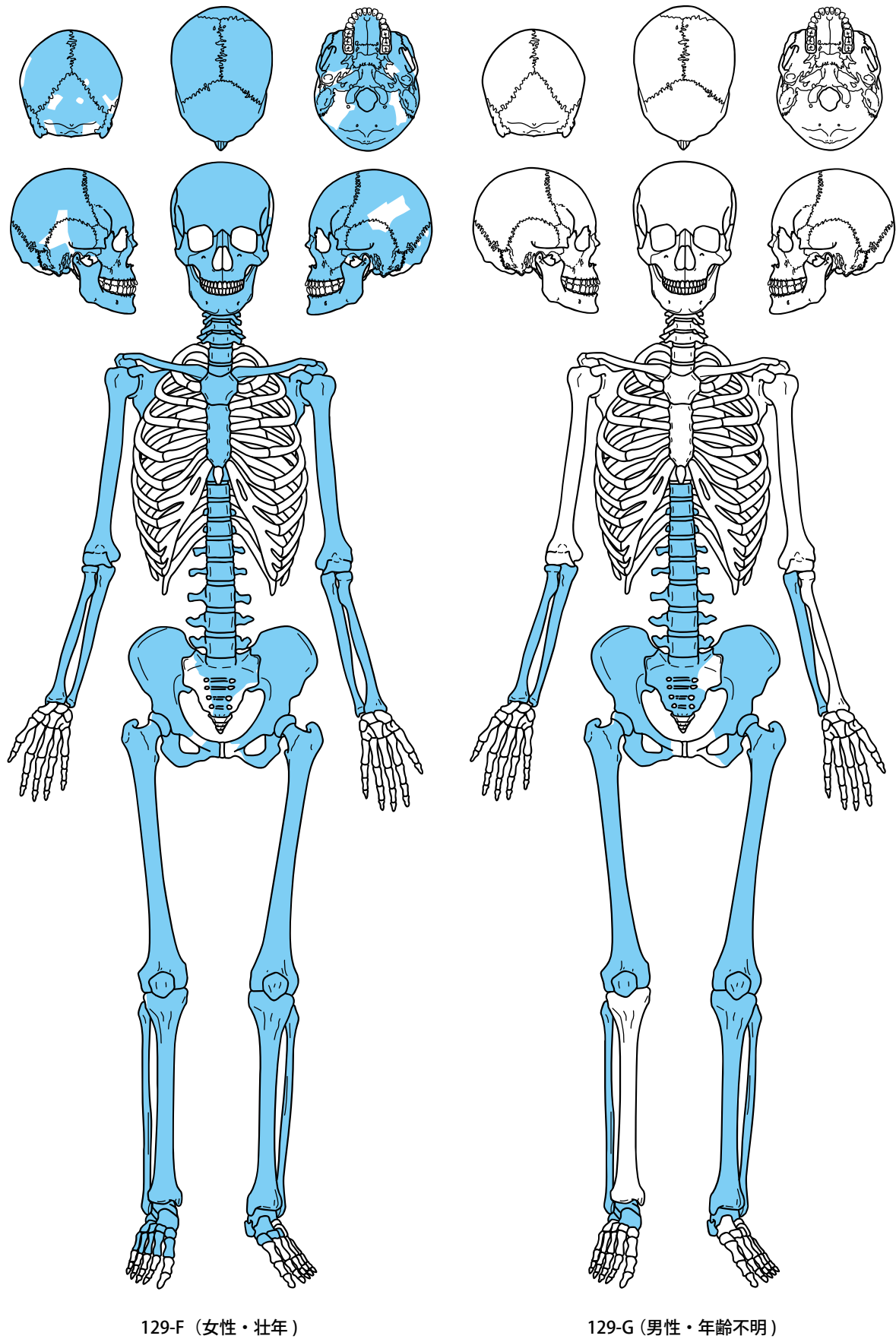


図2-3 人骨の残存図(アミかけ部分)

(Fig.2-3 Regions of preservation of the skeleton. Shaded areas are preserved.)

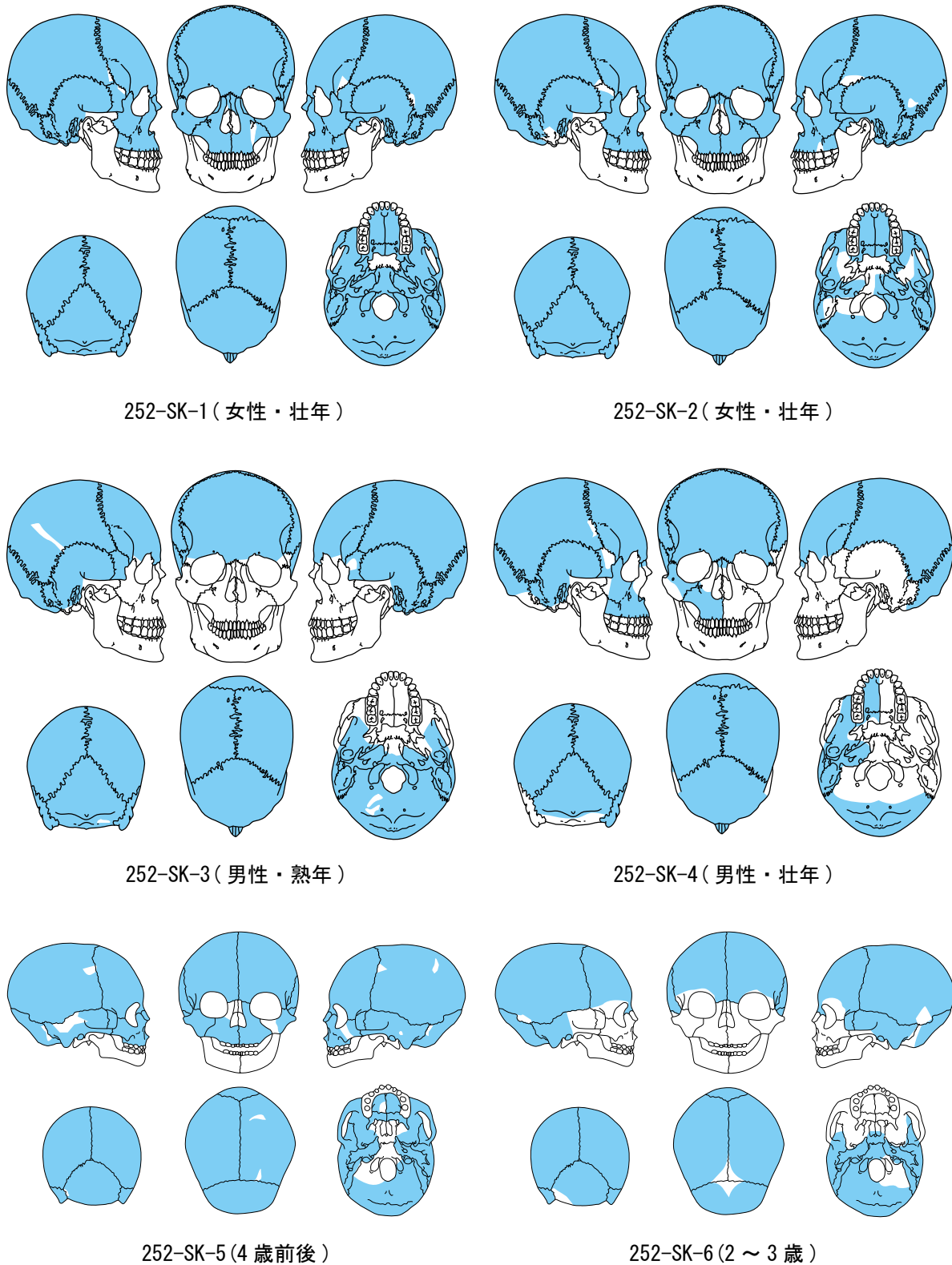


図2-4 人骨の残存図(アミかけ部分)

(Fig.2-4 Regions of preservation of the skeleton. Shaded areas are preserved.)

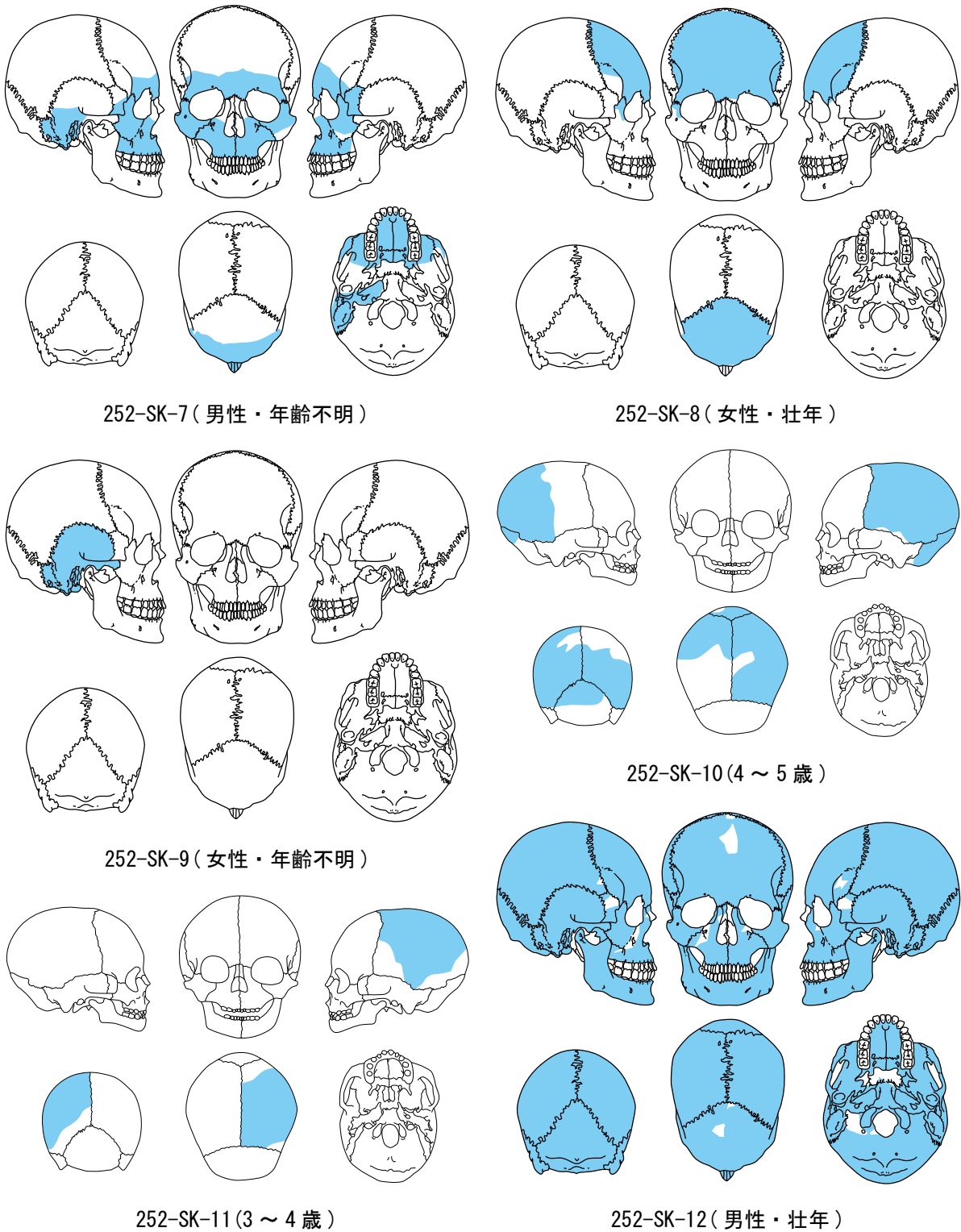


図2-5 人骨の残存図（アミかけ部分）

(Fig.2-5 Regions of preservation of the skeleton. Shaded areas are preserved.)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 48B-SK-1 (女性・壮年)

(The 48B-SK-1 from the Yuigahama-minami site, young adult female)



右側頭頂骨 (The right parietale)

由比ヶ浜南 48B-SK-2 (性別不明・壮年)

(The 48B-SK-2 from the Yuigahama-minami site,young
adult unknown sex)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 48B-SK-3 (女性・壮年)

(The 48B-SK-3 from the Yuigahama-minami site, young
adult female)



頭蓋後面 (Posterior view of the Skull)

由比ヶ浜南 48B-SK-4 (女性・壮年)

(The 48B-SK-4 from the Yuigahama-minami site, young
adult female)



下顎骨 (The mandible)

由比ヶ浜南 48B-MA-1 (男性・年齢不明)

(The 48B-MA-1 from the Yuigahama-minami site, male
unknown age)



下顎骨 (The mandible)

由比ヶ浜南 48B-MA-2 (男性・年齢不明)

(The 48B-MA-2 from the Yuigahama-minami site, male
unknown age)



下顎骨 (The mandible)

由比ヶ浜南 48B-MA-3 (小児・7歳)

(The 48B-MA-3 from the Yuigahama-minami site,
juvenile)



下顎骨 (The mandible)

由比ヶ浜南 48B-MA-4 (幼児)

(The 48B-MA-4 from the Yuigahama-minami site, infant)



左側橈骨 (The left Radius)

由比ヶ浜南 48B-RA-1 (男性・年齢不明)

(The 48B-RA-1 from the Yuigahama-minami site, male
unknown age)



脛骨片 (右)(The fragment of right tibia)

由比ヶ浜南 48B-TB-1 (男性・年齢不明)

(The 48B-TB-1 from the Yuigahama-minami site, male
unknown age)



脛骨片 (左)(The fragment of left tibia)

由比ヶ浜南 48B-TB-2 (性別・年齢不明)

(The 48B-TB-2 from the Yuigahama-minami site, sex and
age are unknown)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



右寛骨 (The right Os coxae)

由比ヶ浜南 129-D-1 号墓 (幼児・2歳前後)

(The 129-D-1 from the Yuigahama-minami site, infant)



右尺骨 (The right Ulna)

由比ヶ浜南 129-D-3 号墓 (男性・年齢不明)

(The 129-D-3 from the Yuigahama-minami site, male unknown age)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



寛骨 (The Os coxae)



クリブラ・オルビタリア (Cribra orbitalia)



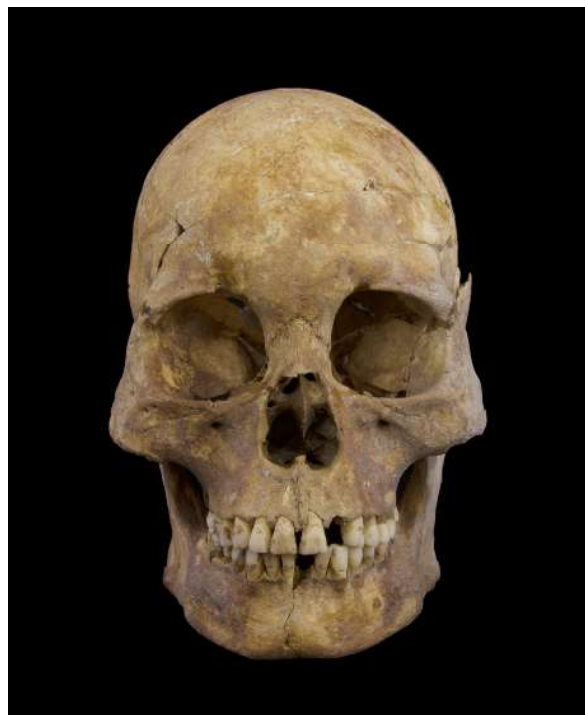
下肢骨 (Bones of the lower limb)

由比ヶ浜南 129-D-2 号墓 (幼児・3～4歳)

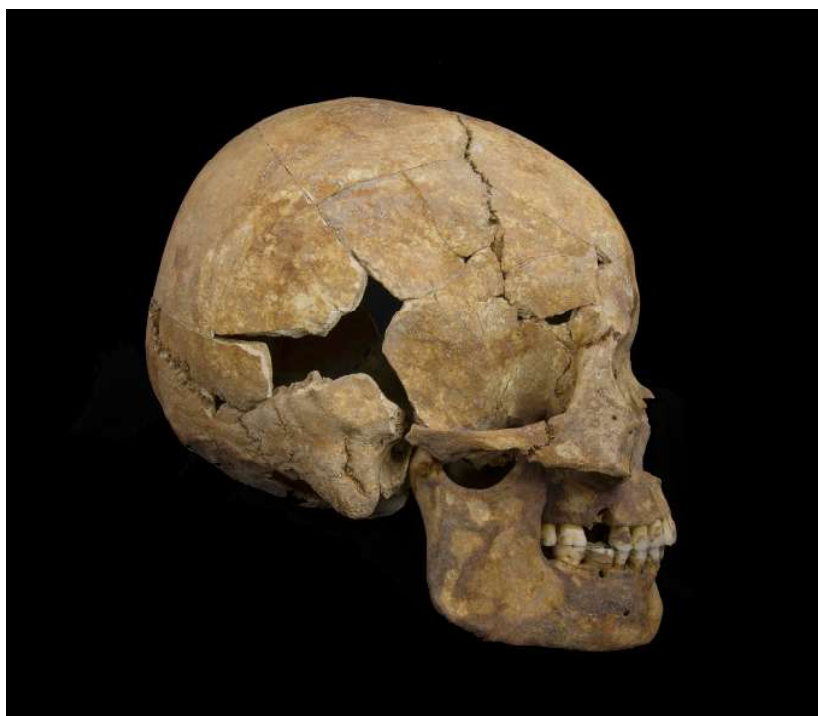
(The 129-D-2 from the Yuigahama-minami site, infant)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 129-F 号墓 (女性・壮年)

(The 129-F from the Yuigahama-minami site, young adult female)



上肢骨 (Bones of the upper limb)



下肢骨 (Bones of the lower limb)

由比ヶ浜南 129-F 号墓 (女性・壮年)

(The 129-F from the Yuigahama-minami site, young adult female)



上肢骨 (Bones of the upper limb)



下肢骨 (Bones of the lower limb)

由比ヶ浜南 129-G 号墓 (男性・年齢不明)

(The 129-G from the Yuigahama-minami site, male unknown age)



寛骨 (The Pelvis)



変形性脊椎症

(The lumbar vertebrae, osteoarthritis of the spine)

由比ヶ浜南 129-G 号墓 (男性・年齢不明)

(The 129-G from the Yuigahama-minami site, male unknown age)



(外側面)



(内側面)



(後面)



大腿骨 (後面) (The left Femur)



大腿骨 (正面) (The left Femur)

由比ヶ浜南 129-G 号墓 (男性・年齢不明)

(The 129-G from the Yuigahama-minami site, male unknown age)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 252 号墓 SK-1 (女性・壮年)

(The 252-SK-1 from the Yuigahama-minami site young adult female)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 252 号墓 SK-2 (女性・壮年)

(The 252-SK-2 from the Yuigahama-minami site young adult female)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 252 号墓 SK-4 (男性・壮年)

(The 252-SK-4 from the Yuigahama-minami site young adult male)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



刀創 (Skull injured by swords)

由比ヶ浜南 252 号墓 SK-3 (男性・熟年)

(The 252-SK-3 from the Yuigahama-minami site mature male)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 252 号墓 SK-6 (2 ~ 3 歳)

(The 252-SK-6 from the Yuigahama-minami site infant)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



刀創 (Skull injured by swords)

由比ヶ浜南 252 号墓 SK-5 (4 歳前後)

(The 252-SK-5 from the Yuigahama-minami site infant)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)

由比ヶ浜南 252 号墓 SK-7 (男性・年齢不明)

(The 252-SK-7 from the Yuigahama-minami site male unknown age)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)

由比ヶ浜南 252 号墓 SK-10 (3～4 歳)

(The 252-SK-10 from the Yuigahama-minami site infant)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)

由比ヶ浜南 252 号墓 SK-8 (女性・壮年)

(The 252-SK-8 from the Yuigahama-minami site young adult female)



クリブラオルビタリア (Cribra orbitalia)

由比ヶ浜南 252 号墓 SK-8 (女性・壮年)

(The 252-SK-8 from the Yuigahama-minami site young adult female)



右側頭骨 (The right temporale)

由比ヶ浜南 252 号墓 SK-9 (女性・年齢不明)

(The 252-SK-9 from the Yuigahama-minami site female unknown age)



左頭頂骨 (The left parietale)

由比ヶ浜南 252 号墓 SK-11 (4～5 歳)

(The 252-SK-11 from the Yuigahama-minami site infant)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 252 号墓 SK-12 (男性・壮年)

(The 252-SK-12 from the Yuigahama-minami site young adult male)